

進路通信



第4号 令和6年10月12日
東京都立武蔵台学園
校長 金子 猛
進路指導部

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

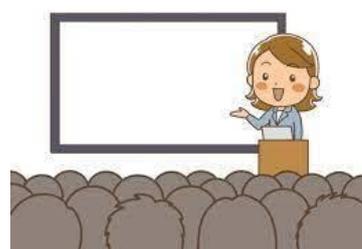
第4号では、1学期の現場実習報告会、卒業生の定着支援、夏季に行われました教員向けの進路セミナーについて掲載します。

また、「通所施設紹介資料」の訂正についてお知らせしておりますので、ご確認ください。

1学期 現場実習報告会について

～ねらい～

- ①実習を通して学んだことを互いに知り合う。
- ②進路先について、関心や自覚を高める。



高等部では、年に2回（1学期と2学期）に実習報告会を行っています。現場実習を行った2年生と3年生から各学年10名程が、現場実習先で取り組んだことや学んだことを報告します。

今年度からは、高等部の保護者も参観していただけるようになりました。

7月10日（水）に行われた実習報告会では、実習先や仕事内容、実習をした感想、課題などの報告と一緒に、写真や動画で仕事の様子を報告しました。

発表した生徒は、緊張しながらも少し誇らしげで、発表し終わった後はホッとした表情とともに、達成感で胸を張って席に着く姿が印象的でした。

報告を聞いていた生徒は、実習先によって取り組んでいる作業が違うことが分かったり、次の実習でやってみたいと思えるような作業や実習先が見つかったりして、自分もやってみたいという意欲がわき、将来について考える時間になりました。

卒業生の定着支援について

～ねらい～

- ① 卒業生の就労先を旧担任等が訪問し、現状や課題の再確認をするとともに適切な支援を行う。
- ② 各事業所との信頼関係をさらに深める。



夏季休業中に、卒業生の進路先へ担当教員が訪問をしました。4月当初は学校とは異なる生活リズムに慣れず苦勞した卒業生もいましたが、4か月が経ち、新しい生活に慣れて、現場実習の時よりもできている姿を見ることができました。また、就労先の一員として環境にも溶け込み、先輩や職場のスタッフの方と楽しそうに過ごしている様子が見られました。訪問に行った教員が元気をもらえた定着支援でした。

定着支援から、気付いたことを2点紹介します。

◇コミュニケーションの大切さ！

職場の方から、挨拶ができたり、困った時に相談ができたり、先輩や職員の方とも距離感を保ちながら会話をする事ができているので大丈夫ですよ、と言われる卒業生はとて多かったです。その一方で、仕事はよくできているのですが、挨拶はしているのに相手に聞こえない声の大きさなので、もう少し声の大きさを意識できるともっと良いのに…と言われる卒業生もいました。

『人間関係が気になる』と困っていた卒業生は、先輩たちから話しかけてもらえると話せるけど、自分からどう話しかけたらよいのか分からない、と話していました。そこでまずは挨拶を少し大きな声で伝えることで会話のきっかけにもなると教員から助言をすると大きくなずき、次の日から実践して自分からコミュニケーションを図れるようになったと報告を受けました。

コミュニケーションの力が大事と進路の手引きにも載せています。日常的に挨拶や相手とやり取りをする際の返事、分からないことを質問するなど、児童・生徒一人一人に合ったやり方や伝え方はあります。それぞれに合ったコミュニケーションの力を付けることで、卒業後の日中の場や様々な場所で、本人にとっての居心地の良い環境を自身の力で築くことにつながります。

◇余暇の大切さ！

卒業生は、仕事をして給料や工賃をもらっています。その給料や工賃で好きな物を買ったり、電車の旅に出かけたりして、それがまた仕事のモチベーションに繋がっている卒業生もいました。

在学中から様々な体験をすることで、興味関心の幅が広がります。日常生活で好きなことが増えていくと、それを楽しみに日々の生活を送ることができ、仕事を頑張ることにもつながります。

夏季進路セミナー（教員向け）実施報告



夏季休業中は、教員の専門性を高め、日常の指導に生かすことを目的に、様々な研修を実施しています。

今年度は、東京都知的障害特別支援学校就業促進研究協議会・多摩地区特別支援教育研究会 共催で7月26日（金）に実施しました、特別支援学校の卒業生と保護者から、学校や支援者に何を期待し、どんな支援を望むのかという話を実体験を踏まえた視点から聞くことができました。

【テーマ】

「特別支援学校を選択した本人・保護者が何を期待し、どんな支援を望むのか」

日々、教員も研修を受けながら、児童・生徒に学んだことを還元できるよう努めています。

何か、お困りの点がありましたら、遠慮なく担任もしくは、進路担当にご相談ください。

通所施設紹介資料の変更をお願いします



令和6年度通所施設紹介資料（進路指導の手引きの後半）の16ページにある国分寺カルディの名称が変更になり『国分寺カメラリア』になります。お手元の資料の訂正をお願いいたします。

また、35ページ中段にあります木馬の会（ライブワークス）が令和6年8月31日（土）で閉所されたとの連絡がありました。